



南郷中学校区 SCHOOL GUIDE



「考えて行動できる人」を育てる

葉山が目指す小中一貫教育

2025年4月に南郷中学校区は、
施設分離型の小中一貫校としてスタートします。
小中一貫校の最大の強みは「つながり」です。
9年間の学びをつなぐ。
学校と教員をつなぐ。
学校と地域をつなぐ。
誰一人取り残すことのないように、
葉山のすべての学校で、理想と目標を共有し、
新しい時代の学びを目指します。
(葉山中学校区は2026年4月スタート〈予定〉)

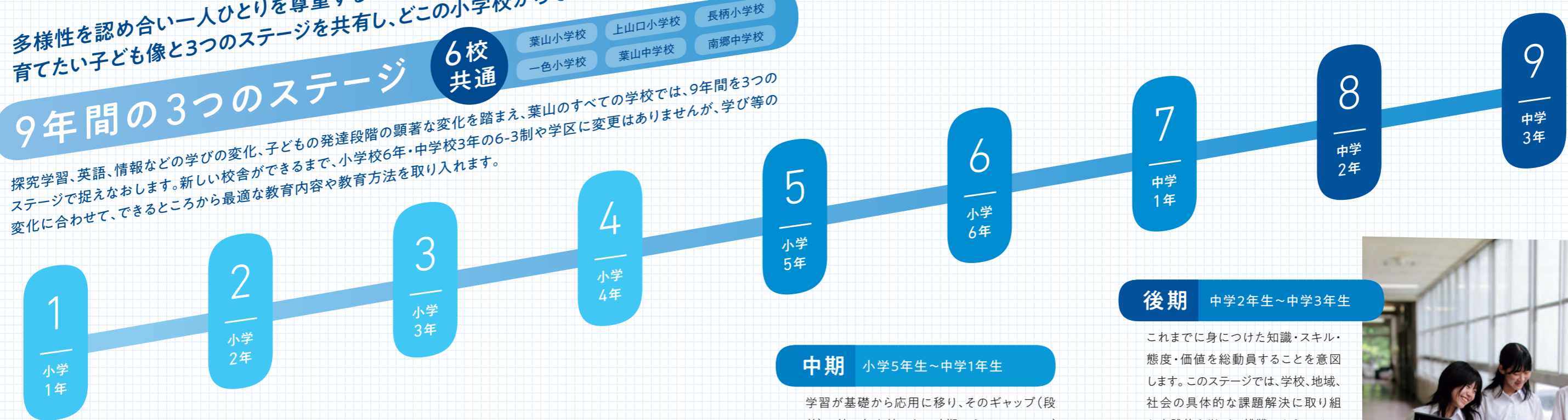


葉山の教育の KEYWORDは 6つの 「もっと」

- 1 **もっと、ワクワクする学びを**
探究的な学び・ICT・英語・環境教育の充実
- 2 **もっと、一人ひとりの学びを**
多様性を大切にしたインクルーシブ教育
- 3 **もっと、生活に学びを**
町のあらゆる場所や機会での生涯学習を推進
- 4 **もっと、通いたい空間を**
学びやまちづくりの拠点になる
- 5 **もっと、つながる地域を**
子どもの学びや地域課題の解決に楽しく参画
- 6 **もっと、教員のワクワクを**
葉山で働くことの魅力を高める

多様性を認め合い一人ひとりを尊重する 育てたい子ども像と3つのステージを共有し、どの小学校からでもシームレスに中学校へ 9年間の3つのステージ

探究学習、英語、情報などの学びの変化、子どもの発達段階の顕著な変化を踏まえ、葉山のすべての学校では、9年間で3つのステージで捉えなおします。新しい校舎ができるまで、小学校6年・中学校3年の6-3制や学区に変更はありませんが、学び等の変化に合わせて、できることから最適な教育内容や教育方法を取り入れます。



中期 小学5年生～中学1年生

学習が基礎から応用に移り、そのギャップ(段差)に特に気を付けたい時期です。このステージでは、ヒト・モノ・コトとの出会いを通して、ワクワクを原動力とした学び(探究)の持続を図ります。探究するだけでなく、仲間とともに創造する機会を提供します。



後期 中学2年生～中学3年生

これまでに身につけた知識・スキル・態度・価値を総動員することを意図します。このステージでは、学校、地域、社会の具体的な課題解決に取り組む実践的な学びに挑戦します。AIとの共存社会がやってくるなかで、人間にしかできない「考えて行動する力」を高めます。



自律的・創造的・対話的に
行動できる社会に生きる力を育む

前期 小学1年生～小学4年生

入学に際して、多くの子どもは期待と同時に不安を抱えています。学校は、子どもをどまんなかに考えます。教員はすべての子ども一人ひとりに責任を持ちます。このステージでは、「遊び」の中にあるワクワクの要素を学びに生かし、よりよい成長を支える自己肯定感を高めます。



POINT 1

新しい時代に必要な資質・能力を9年間で育む

各教科と関連した総合的な学習の時間で9年間をつなぎ、自ら考えて行動する力を探究的な学びで育みます。「知能及び技能」、「思考力・判断力・表現力等」、「学びに向かう力・人間性等」の3つの柱にそって教科ごとの目標を設定し、9年間を見通した合理性のあるカリキュラムを構築。同時にICTの活用や環境への配慮など時代にそった知識と意識を身につけ、社会に生きる力を育みます。

教育目標「考えて行動できる人(子)」が身につける3つの力

自律
責任ある行動をとる力

創造
新たな価値を創造する力

しなやかな心
対立やジレンマを克服する力



文部科学省が2019年に開始したGIGAスクール構想に基づき、葉山町でも2020年度より町内小中学校において、一人に一台のコンピューターを整備し、学年や科目・教科に応じた活用をしています。



葉山町が推進している「エシカルアクション」(自然環境、人や社会・地域を思いやった行動)やSDGsの精神を学びに取り入れ、すべての教科の学びのなかで自然、環境、地域を大切にする意識の定着を重視しています。

英語教育

小学1年生から外国語を母国語とする先生との接点をもつことで外国の人・文化・言語への興味をのばし、小学3年生からの「外国語活動」の学習効果を高めるとともに、後期では英語を活用した自己表現やプレゼンテーション力の修得を目指します。

小学1年生~小学2年生 外国語にふれる

外国語を母国語とするALTの先生による異文化体験で、外国への好奇心をのばし、英語学習への抵抗感を軽減します。授業内容は単語カードの使用や、外国の食文化の話など多岐にわたります。



小学3年生~小学4年生 英語の歌やクイズ

「外国語活動」として英語を学びます。英語の歌を歌ったり、フルーツバスケットやビンゴゲームを行ったりしながら「楽しく」学んでいきます。



小学6年生 英語で町を紹介

自分の住んでいる地域や学校の周辺の「Favorite」(お気に入り)情報をまとめて英語マップを制作。町の魅力の再発見になると同時に地域愛も醸成されます。

\\ 葉山小学校も長柄小学校も挑戦中 //



小学5年生~中学3年生 レシテーションコンテスト

英語のスピーチなどを暗唱し、身ぶり手ぶりを加えて表現するレシテーションコンテストを開催。学年ごとのスピーチを、独自の工夫と個性で発表します。

中学生の発表作品

- 1年 We are the world. Song by U.S.A for Africa
- 2年 I have a dream. Martin Luther King Jr.
- 3年 Brack Hussein Obama1 Presidential Victory Speech



中学1年生~中学3年生 AIドリルの導入

AIドリルの英語教材では授業で理解できなかった単語の復習・定着を個別に学習することが可能でリスニングやスピーキングにも対応。



中学1年生~中学3年生 生きた英語にふれる

中学ではALTの先生による発音指導や英会話中心の実践的な英語の活用をします。タブレットへの英作文の打ち込みも増えます。



小学2年生 季節の野菜から学ぼう

近隣の農家さんにご協力いただき、自分の好きな野菜を種から育てます。作物の成長過程をタブレットに記録し友だちと共有しながら大切に育てます。

小学4年生 福祉・ユニバーサルデザイン・ともに生きるということ

障害のある人がどのような生活をしているのかを知りたいという興味から、実際に障害のある方のお話を聞き、車椅子体験を通じて得た気づきをまとめます。一連の過程のなかで、地域との連携、ICTによる情報収集、友だちとの話し合いによる問題解決など多様なスキルが身につきます。



社会福祉協議会

協力してくれたのは



小曾根さん 黒崎さん 落合さん

小学6年生 日本の伝統文化を守っている人の思い

地域の日本文化の話を聞き、和菓子作り体験で和の魅力に気づきます。今後自分たちがどのように伝統を守っていくのかを考える過程では、社会、国語、道徳など他の教科も通じて日本文化を多角的に学びます。



仙光院



日影茶屋

中学2年生 葉山未来推進会議



これまでの探究学習の集大成として葉山町の未来について学び、考えます。地域の取り組みや働いている人から多くのことを吸収、生活を良くする取り組みについて考えて、行動(提案)をします。

- 葉山町を知ろう
- ↓
- 葉山町をよりよくする提案
- ↓
- プロジェクトの実行

※2024年度実施

探究学習

考えて行動できる人の育成を目指し、個別最適な学びと協働的な学びをバランスよく取り入れます。児童生徒の興味に基づく課題の発見からはじまり、教科横断的な視点ももちながら総合的に学習します。

POINT 2

誰もが大切にされる 信頼でつながる学校

リラックスルーム&リソースルームや支援学級など、通常級に不安をもつ児童生徒の居場所の確保と学びやすい環境の整備をすることで、多様性を認めあい、すべての子どもが共に学びあえるインクルーシブ教育を実践します。

児童生徒の居場所の多様化

クラスにいることに疲れたとき、自分のペースで過ごしたいときなどに自主自立の精神を養う場として活用されるオープンルームで、2022年より長柄小学校・南郷中学校で、2024年より葉山小学校に開設されました。支援学級とは違い、児童生徒が自分自身で利用の判断をします。

葉山小学校・長柄小学校

教室以外の居場所として児童がひと休みできる場。教職員、支援員など多くの大人で運営しています。長柄小学校では、運営にボランティアも参加しており、親同士のつながりがもてる懇談会も定期的に行っています。



葉山小学校
ほっとるうむ

長柄小学校
リラックスルーム

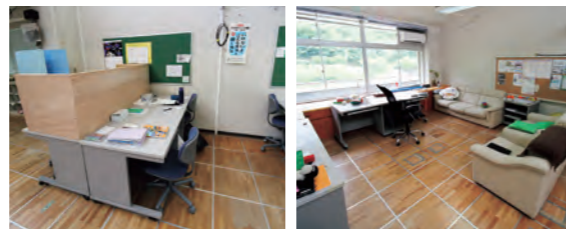


南郷中学校 リソースルーム



スクールカウンセラーや教職員との対話、自身の見つけ直しを通じて、抱えている課題との付き合い方をみつけ、教室への復帰を目指します。

南郷中学校 リソースルームの工夫



ゆったりと過ごせるソファ空間と学習スペース、皆で給食を食べる大机などを完備

支援学級による支援教育

配慮を必要とする児童生徒を「ニーズをもつ子ども」として捉え、教育目標、子どもの状態、保護者の願いから総合的に検討されたカリキュラムに基づいて教育活動を実施します。

葉山小学校 杉の子



生活の基盤を交流級とし、多くの仲間と関わるなかで社会性を培い、コミュニケーション能力の向上を目指しています。

長柄小学校 おひさま



南郷中学校 そよかぜ



個別学習はもちろん、中庭での畑作業や、1対1の指導専用の部屋の整備など卒業後の進路も見据えた支援を行います。

学校の教室を活用した放課後ルーム

長柄小学校独自の挑戦事業で、放課後の教室を利用し、教職員や地域の方々に講師・指導者に迎えて、曜日ごとに多様な体験・交流活動を行っています。子どもたちと地域の大人たちの積極的な参画・交流によるコミュニティが形成されます。



日本棋院との連携で開催している囲碁のクラス

学習ルームには返子葉山高校からボランティアも

自発的に楽しんでいる姿が印象的

曜日	学年	ルーム名	指導・協力先	場所
月	3~6年	英語	先生	図書室
火	3~6年	学習	先生	図書室
水	2・3年	学習・図書	先生・ボランティア	図書室
	3~6年	囲碁	日本棋院	集会室
	4~6年	理科	先生	理科室
木	3~6年	手話	日本ろうあ協会	リラックスルーム
金	3~6年	学習	先生	図書室

木曜の手話をのぞいてみました! //



日本ろうあ協会黒崎理事長の手話クラスでは、幅広い学年の児童が学んでいます。「何時に起きた?」など日常会話を手話でやりとり。

POINT 3

地域を愛し 愛されるコミュニティスクール

コミュニティスクール(学校運営協議会制度)は、学校と地域住民が力を合わせて学校の運営に取り組む「地域とともにある学校」への転換を図るための仕組みです。学校運営に地域の声を生かし、地域と一体となった学校づくりを進めます。

コミュニティルーム & コミュカフェ

地域の方々が気軽に学校を訪問できる場所として長柄小学校・南郷中学校にあるコミュニティルーム。地域学校協働活動推進員の在室日は情報交換などを行い、月一回程度のコミュニティカフェ開催時にはより広く地域から参加者を募り、横軸の交流を図ります。

地域学校協働活動推進員とは南郷中学校区学校運営協議会の委員で、学校と地域の連携や協働の推進にあたって仲介的な役割を担うコーディネーター。



秋山さん

水留さん



どんな人が集まるの?

コミュニティカフェ開催時は近隣にチラシなどを配布し参加を呼びかけています。集まるのは保護者、町内会、防災や学童関係者、教育委員会など多種多様。校長と率直な会話がができる場としても貴重です。

どんな話をしている?

集まったメンバーに応じて会話の内容は変動。この日は地域の困りごとと学校の困りごとのマッチング。互いに要望をだしあうことで協力体制が築けます。



町の自然・人・歴史から学びと体験を享受

葉山町の豊かな自然と歴史、そこに根付いた人や文化から学ぶことは数多くあります。教科書には載っていない葉山ならではの体験を多く取り入れることで、継承すべき知恵や知識を拡充し、より良い町の未来へとつなげていきます。



葉山メダカ出前授業
葉山メダカの会の方に「葉山メダカとは?」「メダカを守っていくには?」「飼育方法」などを学びました。熱心にメダカを観察してメモをとります。



棚田のアイス給食
葉山町が推進するエンカル給食の一環で地産地消を意識。上山口に残る棚田のお米で作られたアイス在给食で提供しています。



海と山への春の遠足
全校一斉の春の遠足では3、4年生は森戸海岸へ、それ以外は南郷上ノ山公園へ向かいます。6年生が1年生の面倒をみるなど縦割り活動にもなります。

中学生も地域のお世話に!

南郷中の職場体験
中学2年生が町内の施設・商店・牧場などで職場体験を実施。業務のみならず「なぜ葉山で働くのか?」という総合の学びにもなります。



稲からお米作り体験
5年生は総合的な学習で田おこしを学びます。長柄在住の農家さんの田んぼで田おこしから田植え、稲刈りまで。最後は餅にして美味しくいただきます。



長柄桜山古墳群の見学
6年生の「日本の伝統文化」を学ぶ一環。古墳を守る会のガイドで、実際に古墳を見に行き、その保存の大切さを学びます。



葉山絵屏風で学ぶ歴史
3年生を対象に、巨大な絵屏風を持参いただき、「絵屏風継承会」の皆さんに葉山の昔の暮らしや良さを伝えてもらいます。



お米の知識を深める
上山口のお米屋さんに来校いただき、お米のブレンドについて、白米精製の過程や農家さんの気持ちなどを教えてもらいました。

2023年度 南郷中学校部活動の活躍!

南郷中学校にはスポーツ系から文化系まで12の部活があり、どの部も大会やコンクールに向けて練習に励んでいます!

- 吹奏楽部** 県南吹奏楽コンクール 銀賞 / アンサンブルコンテスト 神奈川県大会 銀賞
- バスケットボール部** バスケットボール 逗葉大会 男子準優勝
- 陸上部** 神奈川県中学校女子駅伝大会 県大会出場
- バレーボール部** 神奈川県中学校総合体育大会 出場 / 全国中学生ビーチバレーボール大会 出場
- 水泳部** 神奈川県中学校水泳競技大会 200m平泳ぎ 出場 / 逗葉地区中学校水泳競技大会 総合の部 男女総合優勝
- 卓球部** 中学校新人卓球大会 男子個人 県大会出場 / 中学校新人卓球大会 男子団体 県大会出場
- バドミントン部** 中学校バドミントン 新人大大会横須賀ブロック大会 女子シングルス優勝 県大会出場

COLUMN2 葉山町小中学校の今までとこれから

葉山小学校と葉山中学校が開校して以来、移転や開校を繰り返し現在の4小学校、2中学校の体制が築かれました。2025年には町制100周年を迎えるとともに、南郷中学校区は小中一貫校として新たなスタートをきります。今後、新しい時代の学び舎として「学び・生活・共創・安全・環境」を意識した施設一体型の完成を目指します。

葉山小学校開校 葉山中学校開校



小学校の前身は「葉山町国民小学校」。1947年当初は小中両校同じ場所に開校。

葉山中学校移転



葉山小学校から分かれるかたちで、現一色小学校のある校舎へ最初の移転。

南郷中学校開校



中学校の生徒数の増加を分散させるために現在と同じ場所に同校が開校。



全6校ICT導入
新型コロナウイルス蔓延に伴いICT教育の必要性が高まり、全児童生徒にタブレットを整備。

南郷中学校区
施設分離型
小中一貫校へ

葉山中学校区
施設分離型
小中一貫校へ



FUTURE

上山口小学校開校



前身は「葉山町立葉山小学校上山口分校」。木古庭と上山口方面の児童が通う。

長柄小学校開校



昭和の後半から増え続けた子どもの人口に対応して現在と同じ場所に同校が開校。

一色小学校開校 葉山中学校移転



葉山中学校が現在の校舎へ2度目の移転をし、一色には4つ目の小学校が開校。



中学校給食開始

上山口小学校の給食室で中学2校分の給食を作ることで念願の中学校給食が開始。

「柔軟で創造的な学習空間」「複合化や共用化ができる共創空間」
「安心安全で持続可能な教育環境」を実現する新時代の教育施設を目指します



Q 校舎はどうなりますか？

A 「施設分離型」の小中一貫校の間は、今の校舎で引き続き学びます。小中一貫校には、「施設分離型」と「施設一体型」があり、「施設分離型」は、小学校と中学校の建物が分かれている形態（今の葉山町の学校）、「施設一体型」は、小学校と中学校の建物が一つになっている形態（新しく整備する学校）を指します。いずれも、小中一貫した育てたい子ども像、教育課程により運営されますが、葉山町が整備を計画している「施設一体型」のほうが、建物を共有していることで異学年の交流がしやすい、小中の教員間の連携がしやすいなど小中一貫教育に適した形態となっています。

Q 学校組織はどうなりますか？

A 「施設分離型」の期間中は、変更ありません。小学校と中学校にそれぞれ組織が残ります。校長以下教職員の体制やPTAなども各校単位となります。「施設一体型」の建物が完成したら義務教育学校として1つの組織に再編をする予定です。



Q 学区や通学方法はどうなりますか？

A 「施設分離型」の小中一貫校の間は、現在の学区から変更ありません。ただし、葉山小学校から南郷中学校に進学する堀内1~998番地にお住まいのご家庭については、希望するご家庭に限り、通学する小学校を、葉山小学校から長柄小学校に変更することができる「学区選択制」を検討しております。「施設一体型」の建物が完成したときは、堀内1~998番地にお住まいの小学生は、原則、南郷中学校区の学校に通学していただく予定です。

Q 給食はどうなりますか？

A 「施設分離型」の期間は、現在から変更ありません。中学校給食については、現在、上山口小学校の給食室で調理した給食を配送する親子方式ですが、「施設一体型」の建物が完成したら、それぞれの学校に給食室を整備し、各校で調理する自校方式により提供する予定です。



Q 学校名、校歌、校則、標準服（中学校）などはどうなりますか？

A 「施設分離型」の期間は、変更ありません。「施設一体型」の際は、開設前に検討する予定です。

Q 葉山小学校（もしくはその他の学校）から南郷中学校に進学しても学習等に差はありませんか？

A これまでどおり全国共通の学習指導要領の内容をベースに指導していきます。また、葉山のすべての学校で、9年間を3つのステージで捉えることで、一体的に学びの変化等に対応していきます。併せて、それぞれの学校の取り組みや状況を町全体で共有し、学習以外の面についても、学校間で差が生まれないように配慮していきます。



Q 部活動はどうなりますか？

A 現在と変わりません。中学1年生から加入できます。



Q 小学6年生の卒業式と中学1年生の入学式はどうなりますか？

A 「施設分離型」の期間は、変更ありません。「施設一体型」の際は、開設前に検討する予定です。

Q 9年も一緒だと人間関係が固定化しませんか？

A 南郷中学校区は各学年3クラスずつを基本に編成されています。クラス替えや選択制授業、縦割り活動などの積極的な導入で、より広い人間関係を構築できる機会を設けていきます。

Q 支援教育についてはどうなりますか？

A 小中一貫教育を推進することで、9年間を通じた系統性・連続性のある支援を行うことができます。また、小・中学校の支援学級の担任による情報共有や担当者会などにより切れ目のない支援をしていきます。

Q 低学年が活躍できる機会が減りませんか？

A 「施設分離型」の期間は、大きな変更はありませんが、小学校と中学校の9年間を通じた系統性・連続性のある教育課程を編成することで、これまで以上に子どもたちの成長段階に合わせた活躍の機会を設けていきます。





葉山小学校

☎ 046-875-0062

〒240-0112 葉山町堀内2050-1

www.town.hayama.lg.jp/e_hayama

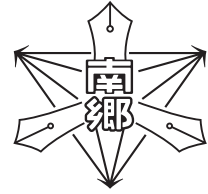


長柄小学校

☎ 046-875-6860

〒240-0113 葉山町長柄130

www.town.hayama.lg.jp/nagae/



南郷中学校

☎ 046-875-9494

〒240-0113 葉山町長柄1835

<https://www.town.hayama.lg.jp/nangou/>



学校教育目標

自ら学び
考えて行動できる子

考えて行動できる人

自立

主体的に学び続ける力
粘り強く取り組む力
気持ちや行動をコントロールする力
よく考え決断できる力
成長しようとする力
みんなの幸福について考える力

自律

責任ある行動をとる力

主体的に学び続ける力
粘り強く取り組む力
気持ちや行動をコントロールする力
よく考え決断できる力
成長しようとする力

主体的に学び続ける力
困難や挫折に負けない粘り強い力
対立しても感情や言動をコントロールする力
状況に応じて適切な判断を下せる力
自分を見つめ、良い方向へ変えていく力

創造

新たな価値を創造する力

問いを見つける力
情報を活用する力
考えを発信する力
チャレンジする力

問いを見つける力
情報を活用する力
考えを発信する力
チャレンジする力
みんなの幸福について考える力

問題点や課題点を発見することができる力
知識・情報・技術を活用し解決策を生み出す力
情報を適切に発信できる力
新しいことにチャレンジしていける力
地域や地球全体の幸福について考える力

しなやかな心

対立やジレンマを克服する力

協働できる力
人を思いやる力
違いを認め合う力
変化に対応する力
情報を見ぬく力

協働できる力
人を大切にする力
違いを認め合う力
変化に対応する力
情報を見ぬく力

自分も人も大切にし、協働できる力
人を思いやり、共に生きることができる力
考えや立場の違いを理解し、尊重できる力
状況を見つめ変化に対応していける力
情報の真偽を吟味できる力

*各校のスクールポリシーは、「OECDラーニング・コンパス(学びの羅針盤)2030」を参考に、6校間で協議して作成しているため、学区にねじれがあっても学習の枠組みとなる方向性は共有しています。

発行

2024年11月

葉山町教育委員会

☎ 046-876-1111 〒240-0112 神奈川県三浦郡葉山町堀内2050-9

